

事務事業評価表

平成14年度	主要事業計画対象の有無	無	電話	042-769-8322
担当部課名	保健所	中央保健センター	所	在宅保健 班
事務事業名	訪問指導事業		事業コード	12220

1 総合計画における位置づけ

政策名	第2章	生涯にわたる健康づくりを進めます	事業開始年度
基本施策名	第2節	市民健康づくりの推進	~63
施策名	第2施策	保健サービスの充実	

2 実施根拠及び関連法令等

老人保健法 相模原市保健事業実施要綱

3 事業概要

(1) 事業の目的 療養上の保健指導が必要であると認められる人及びその家族等に対して、保健師等が訪問して、その健康に関する問題を総合的に把握し、必要な指導を行い、これらの方の心身機能の低下の防止と健康の保持増進を図ることを目的とする。	(2) 対象(誰、何) 40歳以上の市民で療養上の保健指導が必要と認められる人
	対象数
(3) 平成13年度事業の内容 保健師、管理栄養士、歯科衛生士、理学療法士、作業療法士等が実施する内容は下記のとおり ・家庭における療養方法に関する指導 ・介護を要する状態になることの予防に関する指導 ・家庭における機能訓練方法、住宅改造及び福祉用具の使用に関する指導 ・家族介護を担う者の健康管理に関する指導 ・生活習慣病の予防等に関する指導 ・関係諸制度の活用方法等に関する指導 需用費 67千円	(4) 総合計画・実施計画における概要 (総合計画) 保健サービスの充実 ・訪問指導の充実 (実施計画) ・訪問指導の充実 保健指導、栄養指導 など
	(5) 個別計画の概要 計画名 高齢者保健福祉計画 計画年次 12年度~16年度
	生活習慣病や要介護状態の予防のため、保健指導が必要な人に対して、保健師、栄養士などが家庭訪問により指導助言を行う。また、介護家族の健康管理を支援するため、介護に携わる方に訪問指導を行う。

4 評価指標

指標名	訪問指導対象人数の目標達成率	訪問指導事業の満足度
指標式	訪問指導人数 / 訪問指導目標対象人数 × 100	訪問指導事業満足者数 / 訪問指導事業対象者数 × 100
指標設定の意図	達成率により成果を表す。	満足度により成果を表す。

5 目標と実績

[金額単位：千円]

	平成11年度	平成12年度	平成13年度(評価対象年度)		平成14年度	
	実績	実績	実績	目標	目標	
指標			a 1,351.0	b 1,466.0	1,466.0	
指標	95.0	95.0	c 95.0	d 95.0	100.0	
指標			e	f		
事業費	決算(予算)額	5,158	126	67	80	499
	人員・時間数		(7.0人)	(7.0人)	(8.0人)	(8.0人)
	人件費		58,940	58,940	67,360	67,360
	その他経費	0	0	0	0	0
	合計	5,158	59,066	59,007	67,440	67,859
特定財源	3,432	30	27	52	332	

6 個別評価

(1)達成度…目標をどれだけ達成したか			
評価 B ▼	A:達成している (100%)	= 、 、 の平均値 = 96.1%	
	B:一部達成していない(100%> 80%)		
	C:達成していない (80%>)		
a	1,351.0	c	95.0
b	1,466.0	d	95.0
$\times 100 = 92.2\%$		$\times 100 = 100.0\%$	
e		f	
$\times 100 =$			
理由:	高齢者保健福祉計画の見直しの時期であるため、目標値を精査する必要がある。		

(2)必要性…時代変化に適応した事業内容か			
評価 A ▼	A:適応している	理由:	医療保険や介護保険の該当前の予防段階での保健指導の実施が必要である。また、市民の健康への関心も高い。
	B:一部適応していない		
	C:適応していない		

(3)経済性・効率性…費用対効果は妥当か			
評価 A ▼	A:妥当である	理由:	1人1人の健康寿命の延長により、本人家族の生活の質の向上に寄与すると共に、医療保険・介護保険の節減にもつながる。
	B:一部妥当でない		
	C:妥当でない		

(4)事業の代替性…県、民間との役割分担のあり方から見て、市が実施していくことが適当か			
評価 A ▼	A:代替の可能性ない	理由:	保健サービスの提供は、営利目的の民間では難しい。
	B:代替の可能性低い		
	C:代替の可能性高い		

(5)市民満足度…対象市民の満足は得られているか			
評価 A ▼	A:満足できる	理由:	検査値の異常のみで自覚症状のない時期では、保健指導に抵抗のある方もあるが、検査値の改善や眼に見える効果が現れると喜びの言葉が聞かれる。
	B:一部満足できない		
	C:満足できない		

(6)有効性…当該事業は上位の施策を実現する上で有効か			
評価 A ▼	A:有効である	理由:	生活習慣病の予防や在宅での療養生活の助言は、健康寿命の延長に必要不可欠である。
	B:一部有効である		
	C:有効でない		

<p>評価バランスチャート</p>	成果向上の余地	
	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	説明: 今後ヘルスアセスメントを実施することにより、隠された需要が表面化し、予防面の取り組みがより充実する。
	コスト改善余地	
	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	説明: 事業経費は、感染症予防の経費であり、これ以上の削減は困難

7 総合評価

評価	AA ▼	他自治体の類似事業との比較	
今後の進め方		説明	健康意識の多様化に伴い保健指導も個別性が求められる。今後、高齢化が進む中、生活習慣病の予防、悪化防止に取り組むことにより、高齢者の健康寿命を延ばし介護に要する期間の短縮が図れる。
<input checked="" type="checkbox"/>	継続		
<input type="checkbox"/>	見直し		
<input type="checkbox"/>	廃止		
<input type="checkbox"/>	完了		

8 二次評価における変更点

--